

1. 科目名（単位数）	会計学（2 単位）	3. 科目番号	SBMP2131
2. 授業担当教員	孔 炳龍		
4. 授業形態	アクティブ・ラーニング（グループ・ディスカッションなどの双方向対話型授業）	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「簿記」や「会計学入門」履修後の受講が望ましい。		
7. 講義概要	近年の会計制度の状況を踏まえ、会計学の基礎的な理論を把握するのがこの授業の目的である。財務会計の目的は、会計の財務状況を投資家などの利害関係者に知らせるものであり、そのために、会計の基礎概念、財務諸表の作成ルール、現金、手形、商品取引、資金調達、収益と費用、決算手続等についても解説を加える。財務諸表の利用者（債権者や株主などの利害関係者）、経営者の会計に関する行動などについても解説を加える。将来、就職した先や自分で立ち上げる事業所等の経営に役立てるようにする。		
8. 学習目標	1. 個人商店や会社について、その財政状態や経営成績を表す財務諸表の読み方を知り、説明できる。 2. 収益と費用と測定して利益を計上するという過程の基礎にある会計理論を学び、説明できる。 3. 資産項目、負債項目、資本項目の課題と評価について理解し、説明できる。 4. 会計情報を活用した経営改善について理解し、説明できる。		
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	課題レポートは詳しい内容は授業内で指示する。レポートは、教科書の内容からテーマを選択してまとめることから、教科書は必携である。		
10. 教科書・参考書・教材	[教科書]孔炳龍『会計学の基礎』協進社、[教科書]孔炳龍著『会計学（理論編）』協進社、[教科書]孔炳龍『会計学（計算編）』協進社は必携、また教科書の他、配布資料にもとづき授業をおこなうので、送られてきた配布資料は授業前にプリントアウトしておくこと。		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 1. 会計学の基礎知識が理解できているか。 2. レポート課題に対して的確に検討し、会計情報を活用した経営判断ができるようになってきているか。 3. 期末試験を通じて、会計用語等を理解し、説明できるようになっているか。 ○評定の方法 1. 授業への積極的参加 総合点の 30% 2. レポート 総合点の 30% 3. 期末試験 総合点の 40%		
12. 受講生へのメッセージ	1 本講義では、会計学を理解するために、計算例を用いて具体的に明らかにしていきます。会計理論と計算を併せて学びましょう。テキストは必携です。 2 本講義における双方向対話型授業の効果を最大限生かすためには、積極的に質問することが大切です。そのためには、事前に予習するようにしてください。なかには、予習してもわからない部分もあるかと思いますが、その場合、授業中に質問するようにして下さい。教科書の用意がなく出席しても参加とはみなしません。知識の定着化のため事後学習をすること。		
13. オフィスアワー	授業中に連絡します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション：会計の基礎	事前学習	事前に会計とは何かをインターネットで調べること。
		事後学習	貸借対照表についてまとめる。
第 2 回	貸借対照表の計算構造	事前学習	配布資料を読むこと。。
		事後学習	貸借対照表についてまとめる。
第 3 回	貸借対照表と利益計算	事前学習	会計学の基礎 pp. 4-8
		事後学習	貸借対照表の利益計算についてまとめる。
第 4 回	損益計算書の計算構造	事前学習	会計学の基礎 pp. 9-11
		事後学習	損益計算書の利益計算についてまとめる。
第 5 回	会社法会計	事前学習	理論編 pp. 11-16 を読むこと。
		事後学習	会社法会計をまとめる。
第 6 回	金融商品取引法会計	事前学習	理論編 pp. 17-20 を読むこと。
		事後学習	金融商品取引法会計をまとめる。
第 7 回	貸借対照表の会計理論	事前学習	理論編 pp. 21-24 を読んでください。
		事後学習	貸借対照表の本質についてまとめる。
第 8 回	資産の会計理論：棚卸資産の取得原価等	事前学習	理論編 pp. 27-30 の棚卸資産を読むこと。計算編 pp. 1-10 を読んで、例題の記入をする。
		事後学習	計算編の問題 1 を解くこと。
第 9 回	資産の会計理論：棚卸資産の減耗損等	事前学習	計算編 pp. 14 棚卸減耗費・棚卸評価損～p. 15 を読んで、例題の記入をする。
		事後学習	計算編の問題 3 を解くこと。
第 1 0 回	資産の会計理論：有価証券	事前学習	理論編 pp. 25-27 の棚卸資産の前までを読むこと。計算編 pp. 16-22 を読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	問題 4 から問題 8 を解く。
第 1 1 回	資産の会計理論：固定資産等	事前学習	理論編 pp. 31-40 を読み。計算編 pp. 25-28 を読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	問題 10 から問題 12 を解く。

第 1 2 回	負債と純資産会計理論	事前学習	理論編 pp. 41-48 を読み、計算編 pp. 23-24 を読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	問題 9 を解く。
第 1 3 回	損益計算書の会計理論	事前学習	理論編 pp. 49-54 を読み、計算編 pp. 29-31 を読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	問題 13 から問題 14 を解く。
第 1 4 回	収益・費用の会計理論	事前学習	理論編 pp. 55-60 を読み、計算編 pp. 11-14 棚卸減耗費・棚卸評価損の前までを読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	計算編の問題 2 を解く。
第 1 5 回	キャッシュ・フロー計算書	事前学習	理論編 pp. 61-63 を読み、計算編 pp. 32-35 を読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	問題 15 を解く。
期末試験			